



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第152号
発行:兵庫県ユニバーサル推進課 令和5年4月19日



【手話カフェ】

- ① 手話が日本で言語と明記されて 13 年目

【イベント・募集】

- ② ひょうごユニバーサル社会づくり賞候補者の募集(×5/19)
- ③ 身体障害者補助犬の貸付希望者の募集(×5/10)
- ④ Universal Dance Festival 2023

【お知らせ】

- ⑤ 「兵庫県障害者アートギャラリー」4 月の催し



① 【手話カフェ】 手話が日本で言語と明記されて13年目

2011年に障害者基本法が改正され、(地域社会における共生等) 第三条に言語(手話を含む。)という文言が入って、今年は13年目となります。

最近では手話が言語であることは知らなくても、「聴覚障害の人たちが話すときに使っていることば」という認識は定着してきたようです。手話で話している人を見かけてびっくりするということはありませんでした。また、以前は、まちなかで大っぴらに手話で話すことに抵抗を感じることもあったようですが、今はどこでも自由に話せるようになっています。

手話は映画やテレビドラマなどで取り上げられるたびにブームになってきました。最近では、オリンピック・パラリンピック東京2020の式典手話通訳や新型コロナ感染症の首相会見、知事会見な

どの手話通訳を見たり、聴覚障害をテーマにした映画やドラマを見たりして、再び、手話に興味を持つ人が増えています。言語のひとつとして手話を選択できる大学が増え、手話を学ぶ学生もたくさんいます。手話を少しでもやってみれば、「日本語じゃないんだ、別の言語なんだ」ということはすぐに感じられるでしょう。

手話言語と音声言語の対等性をみんなで認めるため、国連で2017年に9月23日を手話言語の国際デーとすることが決議されました。今年の9月23日は兵庫県内でも「手話言語にブルーライトを当てよう」プロジェクトに協力し、この日に県内各地でブルーライトアップが行われました。

音声日本語があるところには、文字化された日本語を表示し、同時に対等に手話を保障する、そして、多くの聞こえる人が手話を話すことが、耳が聞こえにくい人、聞こえない人、手話で生活している人の社会参加を広げます。

SDGsの「地球上の誰一人として残さない」というコンセプトに合うように、すべての人が参加できる兵庫県に向かって今年度も努めたいと思います。

兵庫県設置通訳者

■9月23日「手話言語の国際デー」におけるブルーライトアップの実施

https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/20220909_11159.html

■「手話カフェ総集編」もぜひどうぞ！

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/shuwa_cafe1.html

② ひょうごユニバーサル社会づくり賞の候補者募集(※5/19)

県は、年齢、性別、障害の有無、文化等の違いに関わりなく、全ての人が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮して活動することができる「ユニバーサル社会」を、皆さまと一緒に実現することを目指しています。

今年度も、ユニバーサル社会づくりに向けた個人・団体・企業の率先した実践活動を「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」として、顕彰します。

ユニバーサル社会の実現に向けて取り組まれている個人、団体、企業の方は、ぜひご応募ください。(自薦、他薦を問いません。)

■対象

ユニバーサル社会づくりの率先した活動を行っている兵庫県内に在住又は活動拠点を置く個人、団体、企業

■申し込み方法

応募用紙に必要事項を記入のうえ、ユニバーサル推進課に提出してください。(郵送、メール、持参いずれも可)

■募集〆切

令和5年5月19日(金)

■詳細は県 HP をご覧ください。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/shakaidukuri.html>

③ 身体障害者補助犬の貸付希望者の募集(〆5/10)

県は、障害がある方の自立と社会参加を進めるため、身体障害者補助犬(以下補助犬)の貸付事業を行っています。

補助犬というと「盲導犬」を思い浮かべる方が多いのですが、盲導犬だけではありません。手や足に障害のある人の日常生活動作をサポートする「介助犬」や、聞こえない・聞こえにくい人に必要な生活音を知らせる「聴導犬」もいます。

■補助犬の貸付希望者を募集中

今年度も5月10日まで、補助犬の貸付希望者を募集しています。貸付を希望される方は、まずは、居住地の市福祉事務所・町

役場の障害福祉担当課にご相談ください。

■申請についての詳しい内容は、県 HP をご覧ください。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/hw20_000000024.html

④ Universal Dance Festival 2023

障がいの有無・年齢・性別・文化の違いを問わず「誰もが表現し、輝ける」をテーマに、ユニバーサル社会促進への寄与、パフォーマーのパフォーマンスする場を増やすこと、神戸を盛り上げることを目的に神戸市のメリケンパークで2日間に渡り開催されます。

様々なダンスチームのパフォーマンスが披露されるほか、7日には、元 SPEED の今井絵理子参議院議員の出演も予定されています。

兵庫県も後援するとともに、会場内でのパラスポーツ体験会や車イスレーサー等の介護機器の展示、試乗会の実施、障害者芸術作品の展示、障害福祉作業所の出店を予定するなど、ユニバーサル社会実現に向け開催に協力しています。

■主催: Universal Dance Festival 実行委員会

■日時: 令和5年5月6日(土)16:00~20:00(開場:15:30)
5月7日(日)12:00~16:00(開場:11:30)

■場所: メリケンパーク野外ステージ <入場料無料>

■イベントHP <https://www.universal-festival.com/>

⑤ 「兵庫県障害者アートギャラリー」4月の催し

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内にある「兵庫県障害者アートギャラリー」では、4月1日(土)~6月3

0日(金)まで人権書道きらきら「きらきら書道展～桑嶋(そうきゅう)生誕の地、三木からの風～」を開催しています。

カラフルな墨を使った鮮やかな作品や、大胆な筆づかひの迫力ある作品、思わずほっこりするような作品など、のびやかで躍動感のある作品がたくさん展示されています。

障害のある方々が、様々な表現手段を使い、自由な発想で描いた作品をどうぞご鑑賞ください。

■人権書道きらきら「きらきら書道展～桑嶋(そうきゅう)生誕の地、三木からの風」

と き 4月1日(土)～6月30日(金) 10時～18時まで

※5月12日は作品入替えのため閉場

※最終日は午後12時閉場

ところ 兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー本館1階
(神戸市灘区原田通 3-8-30)

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibition/#2438>

【編集・発行】

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで

兵庫県福祉部ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp
